

## 11月のアルミレポート及び12月の見通し (3)

橋本アルミ(株) 橋本健一郎



## ■概況

## 【自動車】

10月の四輪車生産台数は、83万9200台で前年同月比プラス6.4%となり13か月連続前年同月を上回った。輸出は41万1277台で前年同月比マイナス2.9%。

## 【販売】

11月の国内自動車販売台数(軽は除く)は、25万8164台で前年比マイナス5.4%。2か月連続のマイナス。その内訳は、乗用車がマイナス5.5%、貨物がマイナス5%、バスがマイナス12.4%となる。

## 【住宅】

平成29年10月の住宅着工戸数は8万3057戸で、前年同月比で4.8%減となった。また、季節調整済年率換算値では93万3000戸(前月比2.0%減)となった。

住宅着工の動向については、前年同月比で4か月連続の減少となっており、利用関係別にみると、前年同月比で持家、貸家、分譲住宅ともに減となった。引き続き、今後の動向をしっかりと注視していく必要がある。

〈持家〉前年同月比では5か月連続の減少(前年同月比4.8%減、季節調整値の前月比では1.1%減)。

〈貸家〉前年同月比では5か月連続の減少(前年同月比4.8%減、季節調整値の前月比では5.5%減)。

〈分譲住宅〉前年同月比では2か月連続の減少(前年同月比4.8%減、季節調整値の前月比では%減)。

分譲マンション:前年同月比では2か月連続の減少(前年同月比16.9%減)。

分譲一戸建住宅:前年同月比では先月の減少から再びの増加(前年同月比5.0%増)。

## 【アルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績】

前年比プラス5.8%の7万2638トン、1か月ぶりのプラス。出荷はプラス5.1%の7万2406トン、1か月ぶりのプラス。

その内訳は、出荷先で鋳物がプラス1.3%、ダイカストがプラス6.1%、板がマイナス0.5%、押出がプラス13.7%、鉄鋼がプラス8.6%、合金地金メーカーがマイナス2.1%。

## 【アルミ圧延・押出品生産・出荷動向】

日本アルミニウム協会発表の圧延品の生産出荷動向によれば板類・押出生産合計は前年比プラス2.9%の18万454トン、2か月ぶりのプラス。板類の生産はプラスに反転、出荷は2か月ぶりにプラス。

缶材 3万3686トン(5.6%) ビール系飲料はマイナスとなったが、ボトル缶の増加により、3か月ぶりにプラス。

自動車 1万6068トン(12.5%) 乗用車へのアルミ需要増やトラック架台の好調により、8か月連続でプラス(9月の軽自動車を除く国内乗用車生産台数:60万8000台、前年同月比:マイナス0.2%)。月間として初

めて1万6000トンを超え、過去最高を記録。

輸出 1万8002トン(2.5%) 前月のマイナスからプラスに転じた。押出類は生産、出荷ともに12か月連続でプラス。

建設 4万1742トン(マイナス0.4%) 台風による天候不順の影響で建設工事が停滞したこともあり、3か月連続でマイナス。

自動車 1万2676トン(6.2%) 乗用車へのアルミ需要増やトラック架台の好調が継続し、プラスに転じた。

## 【輸出】

アルミ新地金が前年比マイナス60.1%の83トン。二次合金がマイナス30.9%の1096トン。スクラップがマイナス12.1%の1万1011トン。アルミ缶がマイナス10.3%の5419トン。

## 【輸入】

アルミ新地金が前年比マイナス22.9%の1万1017トン。二次合金がプラス12.4%の10万9574トン。スクラップがマイナス14.8%の419トン。合金スクラップがプラス72.1%の4132トン。

## ■見通し

自動車は生産がプラス6.4%。国内販売台数が前年比マイナス5.4%。生産が13か月連続プラス、販売が2か月連続マイナス。販売が2か月連続マイナスに今後も続くか注意が必要。住宅着工の動向については、前年同月比でマイナス4.8%と4か月連続マイナス。下げ傾向かどうか、今後の動向に注目。

## 【アルミ圧延・押出品生産数】

板類・押出生産合計が前年比マイナス2.9%の18万454トン、1か月ぶりのプラス。今後もプラスが続くかどうか、動向に注目。

## 【アルミニウム二次合金・同合金地金等生産実績】

前年比プラス5.8%の7万2638トン、2か月ぶりのプラス。出荷はプラス5.1%の7万2406トン、2か月ぶりのプラス。プラスが今後も続くのかどうか、今後の動向に注目。

アルミ輸出は自動車生産の好調を受けて全体的に減少、アルミ缶も韓国輸出が減少。アルミ輸入は自動車生産の好調から二次合金及びスクラップは増加。その他は減少。

## 【スクラップ需給予想】

流通在庫は、自動車生産などに比べて自動車販売、住宅着工が不好調だが、ここ最近のLME価格の高止まりを受けて輸入塊が高止まりし市中玉は不足気味ではないか?

需要面に関しては自動車の生産は好調、販売も2か月連続増加してるものの、LMEアルミが2000ドル~2100ドル近辺と100ドル程度低迷が続いていることや為替が111円~112円台と1円~2円程度円高に振れてること、年末休業の関係から高買いはしないのではないかと

【4面に続く】

**【価格・為替予想】**

今月は来年に向けての中国環境規制の動向や北朝鮮問題に左右される。

来年に向けての中国環境規制の動向に関しては、雑品の輸入禁止やPM2.5抑制のための生産禁止・抑制がさらに厳しくなるのは間違いないが、他方、建築に関しても規制が出るとの情報もある。

北朝鮮問題に関しては、中国の仲裁も空しく再び北朝鮮がICBMを発射。これに対抗する形で米国が最大規模の軍事演習を行うなど解決の目途は立っていない。

これらを踏まえた12月のアルミ価格は、中国が環境規制で建築などの需要に向けての規制を行わず、北朝鮮が追加的な軍事的アクションを起こさなかった場合、先月一段高値の2100ドルを予測。いずれかの場合は2000ドル。下値はいずれの条件も達成できなかった場合で先月安値の1900ドル。

為替は、上記材料から円安値は9月後半安値の111円～114円(TTM)台を予測。

スクラップ購入価格に関しては0～プラス5円程度と予測している。 **【終わり】**